

学校教育目標:「かがやく富戸っ子」～笑顔あふれる富戸小学校を目指して～

富戸っ子

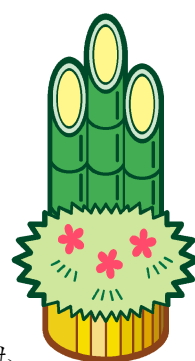
第12号
令和2年1月7日
伊東市立富戸小学校

令和2年、新年に向けて ～教育が動く、新学習指導要領完全実施～

富戸小学校長 鈴木幸枝

**明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。**

去年の四月に富戸小学校に赴任し、九ヶ月が経ちました。この間、保護者の皆様、地域の皆様には、各方面からご協力、ご支援をいただきました。毎日の宿題や連絡帳の見届け、朝の交通安全指導、富戸っ子タイム（クラブ活動）や英語教室、ダイビング体験、お飾り作り、総合学習での見守りなど紙面では紹介できないほど多くの方々に携わっていただきました。子どもたちは、人（ひと）・物（もの）・事（こと）との出会いや体験を通じて、健全に、たくましく成長を続けています。あらためて、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今年も引き続き、富戸小学校の子どもたちをあたたく見守っていただけるようお願い申し上げます。



さて、今年オリンピックという大イベントを控え、いつもより「躍動」感のある年になります。また、教育界においても変革の時を迎えます。小学校の新学習指導要領がこの四月から完全実施となります。プログラミング教育、小学校三年生からの外国語教育など指導内容に新しく加わるものがあります。そのこと以外にも、今までの指導要領から転換していくものがありますので、雑ぱくではありますがその特徴を紹介します。

一つは、子どもが「何ができるようになるか」という観点から、各教科等の具体的な目標や内容を整理していきます。これによって、目指す子どもたちの資質・能力がより明確になってきます。もう一つは、「どのように学ぶか」に関わる授業改善です。これは、「主体的・対話的で深い学び」を視点においたものです。教師が教える部分と子どもが考える場面をどのように組み立てると良いかを意識しながら授業の工夫をしていきます。

【十年先、二十年先を見据え、子どもたちに「生きる力」を身につけさせたい。】これが私たち職員の課題であり、願いです。社会の変化するスピードは加速し、どのような世の中になるのか想像することも難しくなっています。その社会変化をどう乗り越えていくのか、まさに子どもたちが直面しようとしている課題です。私たち職員一同は、子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、社会の創り手となるよう、しっかりとスクラムを組み、頼もしい「富戸っ子」に育てていきたいと考えています。